

### 鉄骨二次部材グループ

## 福井県内で第28回定例会

### 福岡(福井)の胴縁製作工程を見学

胴縁・母屋など鉄骨二次部材の外販加工メーカーで組織する広域団体、鉄骨二次部材加工グループ(略称・TNB、会長 福岡賢・福岡社長)は7日、3年ぶりに対面での第28回定例会を開催した。午前中に会長会社である福岡(福井県鯖江市、福岡賢社長)の工場を見学し、午後には鯖江市の「猿の棲む森 コミュニ

ティールーム」で、各社の仕事の近況や直面している課題などについて情報を交換した。

福岡では自社開発してきた胴縁製作向けCADや一次加工システムと、これらの活用によるCAD/CAM化、加工機のネットワーク接続による統合生産管理システム「ファルコン・システム」運用による効率化

などに取り組んできた。

近年では工場内の安全衛生教育の強化、さらなる効率化を目指すDXプロジェクト推進などに力を入れており、2025年春、本社敷地内に新工場を竣工予定だ。

見学では同社開発の加工機を

胴縁製造工程を見学して記念撮影



用いた二次加工、溶接などの二次加工、出荷までの各作業を視察した。「ファルコン・システム」による一次加工進捗よくの管理や生産量の「見える化」の取り組み、牽引台車を使った製品の構内運搬、結束バンドによる梱包作業などを見学し、効率化や作業安全性向上などの取り組みについて説明を受けた。

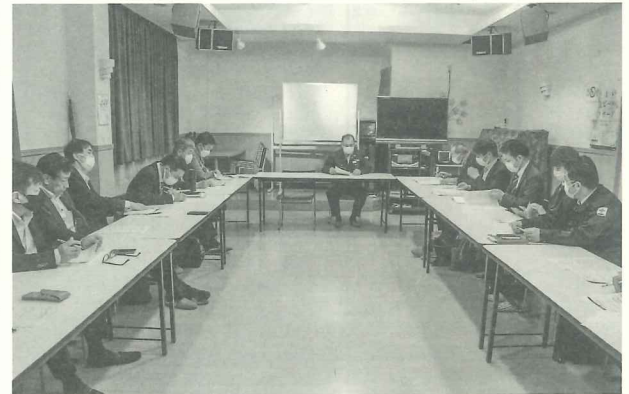
定例会では加工山積みや今後の受注見通しなどの近況を報告し、課題について意見交換した。鉄骨二次部材の需要は物流施設、工場など大型物件を中心に堅調で、各社とも数カ月の山積みを確認しているが、工期ずれに伴う仕事量のずれ込みが増えており、工場での生産管理に影響している。

また、副資材価格の高止まりに加えて電気料金、配送費用などが値上がりしており、「社員の給与アップ

など人件費増も含め、増加している費用を転嫁するため、加工単価を約30%値上げしていくことが必要ではないか」といった声が出た。このほか、図面承認の遅れや製品梱包に関する要求の増加と対応、タッチアップ作業などについて意見を交換した。

福岡会長は「対面での開催により、より忌憚のない、率直な意見交換ができた。鉄骨二次部材業界の健全な発展を目指して今後も現場の課題を真剣に議論し、解決策を見つけていける場としていきたい」としている。

現場の課題について意見交換



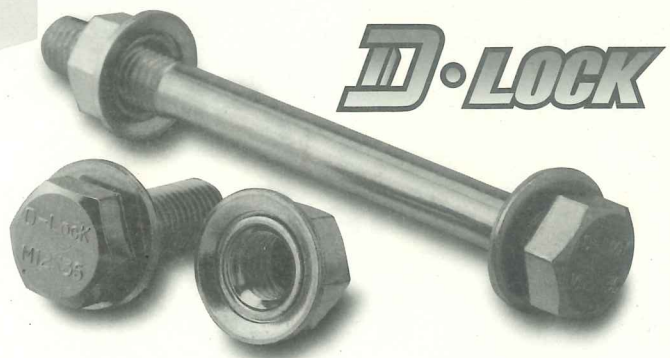
現場の課題について意見交換

JAPAN Quality

FASTENING INNOVATION

## 中ボルト連結構造

実用新案 登録第3161303号  
SASST技術評価 第18-04号取得



詳細はホームページで <https://www.toneji.jp>

### 株式会社トーネジ

JIS B 1180 六角ボルト 認定取得工場

東京営業所 〒124-0025 東京都葛飾区西新小岩4丁目42-12イソマビル4F  
 九州営業所 〒800-0222 福岡県北九州市小倉南区中曾根1丁目12-21矢野第6ビル205号  
 札幌出張所 〒005-0841 北海道札幌市南区石山1条5-2-1ロピア石山通512  
 本社 〒305-0882 茨城県つくば市みどりの中央85-2

TEL:03-3696-6661  
 TEL:093-383-9732  
 TEL:080-8155-1234  
 TEL:029-846-6101